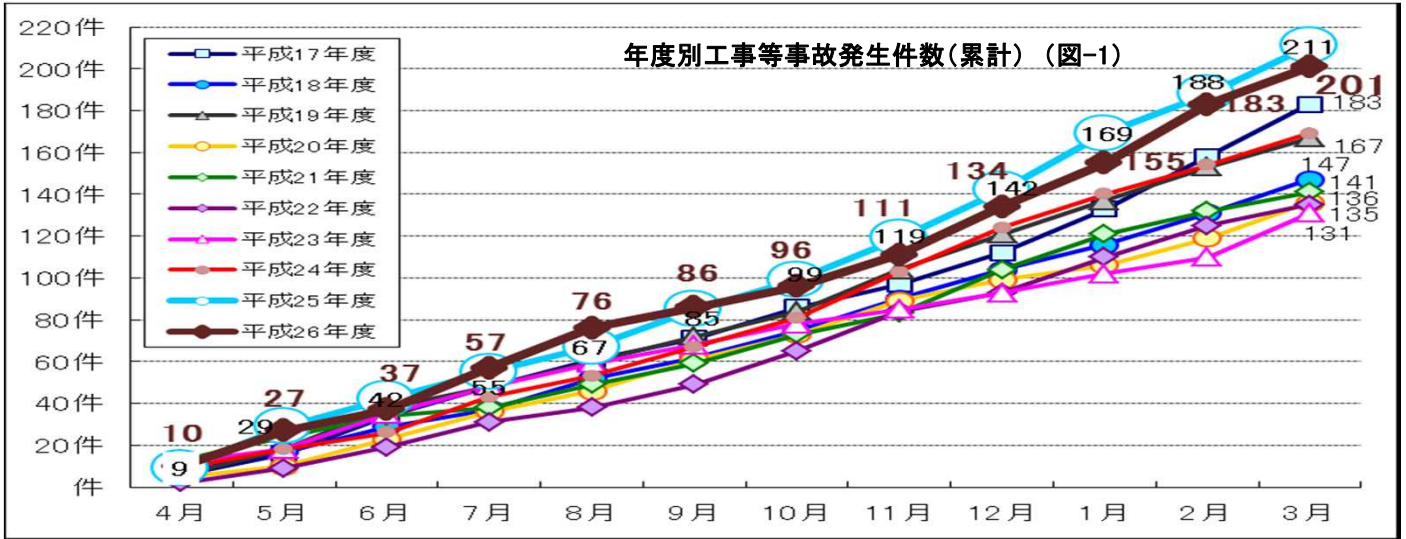


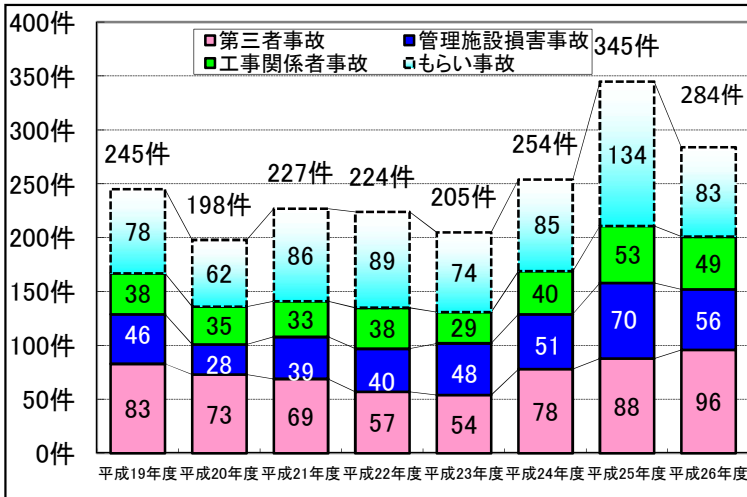
平成26年度直轄工事等の事故発生状況について



平成26年度の直轄工事事故発生状況(※3月末時点)

- 全体の事故件数は平成25年度に比べ、10件減少しているが、平成25年同様、近年最大のペースで事故が発生しました。
- 特に、12月から2月は、発生件数がおおかった(茶色の線が26年度の件数)
12月から2月にかけて72件の事故が発生しています。これは、全体の約36%をしめています。年度末にむかって、工期を意識し、安全対策がしっかりととされていないこととなります。(図-1)

事故分類別工事等事故発生状況 (図-2)



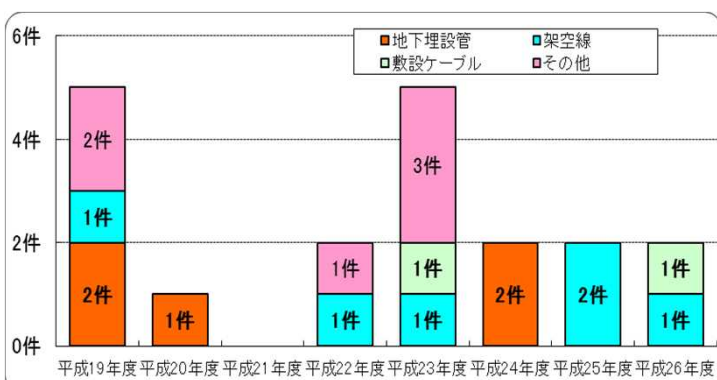
平成26年度分類別事故発生状況

事故分類の内訳 ()内は平成25年度の件数

- もらい事故 83件 (134件)
- 工事関係者事故 49件 (53件)
- 管理施設事故 56件 (70件)
- 第三者事故 96件 (88件)
- 内訳 人身 3件 (6件)
- 損害 93件 (82件)

全体の事故件数は昨年よりも減少したが第三者に対する損害が増加している (図-2)

公衆災害の影響・損害の大きい事故(物損)発生状況 (図-3)

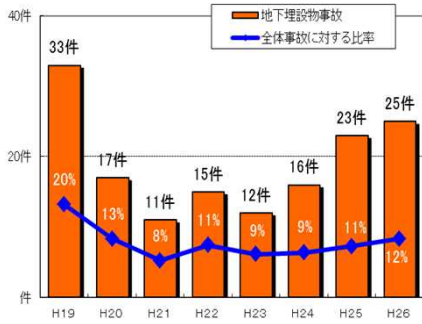


平成26年度公衆災害(物損)の重大事故

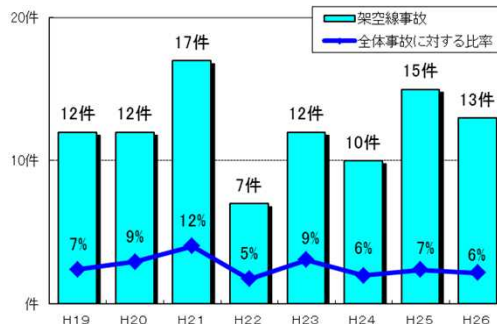
(架空線:関西電力)

- バックホウが場内移動中、関西電力架空線3本を切断し、約400軒が、約4時間半停電した。(施設ケーブル切断)
- 庁舎改修の為、天井ボード切断中、機械警備のケーブルを切断し、警備が約22時間停止した。(図-3)

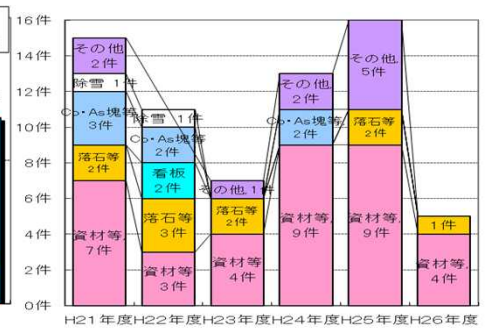
平成26年度事故等防止重点対策項目における事故発生状況について



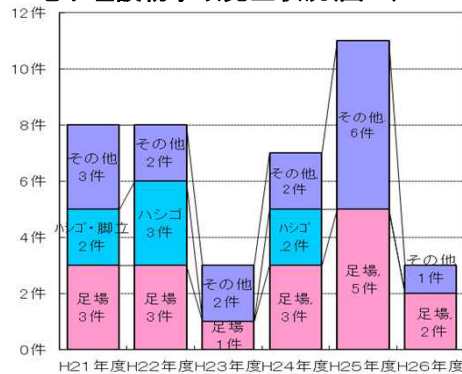
地下埋設物事故発生状況(図-1)



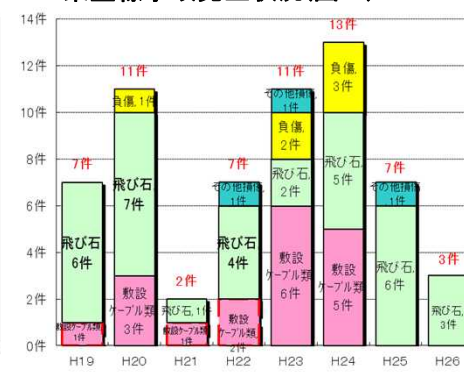
架空線事故発生状況(図-2)



飛来・落下事故発生状況(図-3)



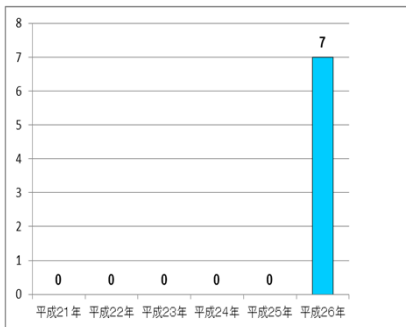
墜落事故発生状況(図-4)



草刈り作業における事故発生状況(図-5)



重機の転倒・接触事故発生状況(図-6)



吊荷との接触発生状況(図-7)

平成26年度近畿における工事等事故防止対策重点項目の事故の発生状況

- 公衆災害事故関連では、**地下埋設物事故は25件、架空線事故が13件、飛び石事故が3件発生している。**
- 工事関係者事故の内訳では、**資材等の飛来・落下事故が4件、墜落事故が3件、重機の接触事故が3件発生している。**
- 吊り荷との接触 (H26年度から重点項目)は、**26年度は7件発生している。**

地下埋設、架空線は相変わらず多発している状況です。飛来落下、墜落、重機の転倒・接触は昨年度に比べ減ってはいますが、これらの事故は重大な事故につながりかねません。吊り荷との接触は7件、飛び石は昨年よりは、減少はしていますが、作業時期に集中して発生しています。

事故件数は、26年度は25年度に次いで2番目に多く発生しましたが、今年度は1件でも事故を減らすため、安全対策強化に努めるよう、心がけて下さい。

平成27年度全国安全週間(平成27年7月1日～7日)

主唱 厚生労働省 中央労働災害防止協会

～スローガン～

危険見つけてみんなで改善意識高めて安全職場

職場をあげて危険箇所を発見し、労働災害防止策を講じて、職場の安全意識をたかめ、労働災害を防止するようにしてください

